



英国環境庁による水道業界の年間水資源パフォーマンスの分析 —スマート水道メーターに関して—

(はじめに)

英国環境庁(Environment Agency)は、2024年10月7日付けで、「水資源 2023-2024:水道業界の年間水資源パフォーマンスの分析(Water resources 2023-2024: analysis of the water industry's annual water resources performance)」と題する報告書を公表しました。

この報告書では、英国のイングランド及びウェールズにおける水道メーターの普及率及びスマート水道メーターの設置状況などについて記載されています。

そこで、以下に、水道メーターの普及率及びスマート水道メーターの設置状況などに関する部分について紹介することとします。

(出典)水資源 2023-2024:水道業界の年間水資源パフォーマンスの分析

2024年10月7日発行

イングランドに適用

<https://www.gov.uk/government/publications/water-resources-2023-2024-analysis-of-the-water-industrys-annual-water-resources-performance/water-resources-2023-2024-analysis-of-the-water-industrys-annual-water-resources-performance>

(要約)

主な調査結果

一部の水道会社は水道メーター設置計画に遅れをとっている。将来の水需要管理のためには、これらの水道会社が遅れを取り戻すことが重要である。これは家庭における水使用量と、それに伴う一人当たり消費量に重大な影響を与えており、その量は予想をはるかに上回っている。

水道会社は次に何をすべきか

水道会社は、スマートメーターの導入を成功させる準備として、スマートメーター設置の瞬間から顧客をサポートするためのデータインフラを整備しておくべきである。需要の削減は、顧客への供給の安定確保、環境保護などにとって不可欠である。

(注)以下は、報告書のうち、水道メーターの普及率及びスマート水道メーターの設置状況などに関する部分の抜粋である。

2.8 家庭用及び家庭用以外の水道メーター

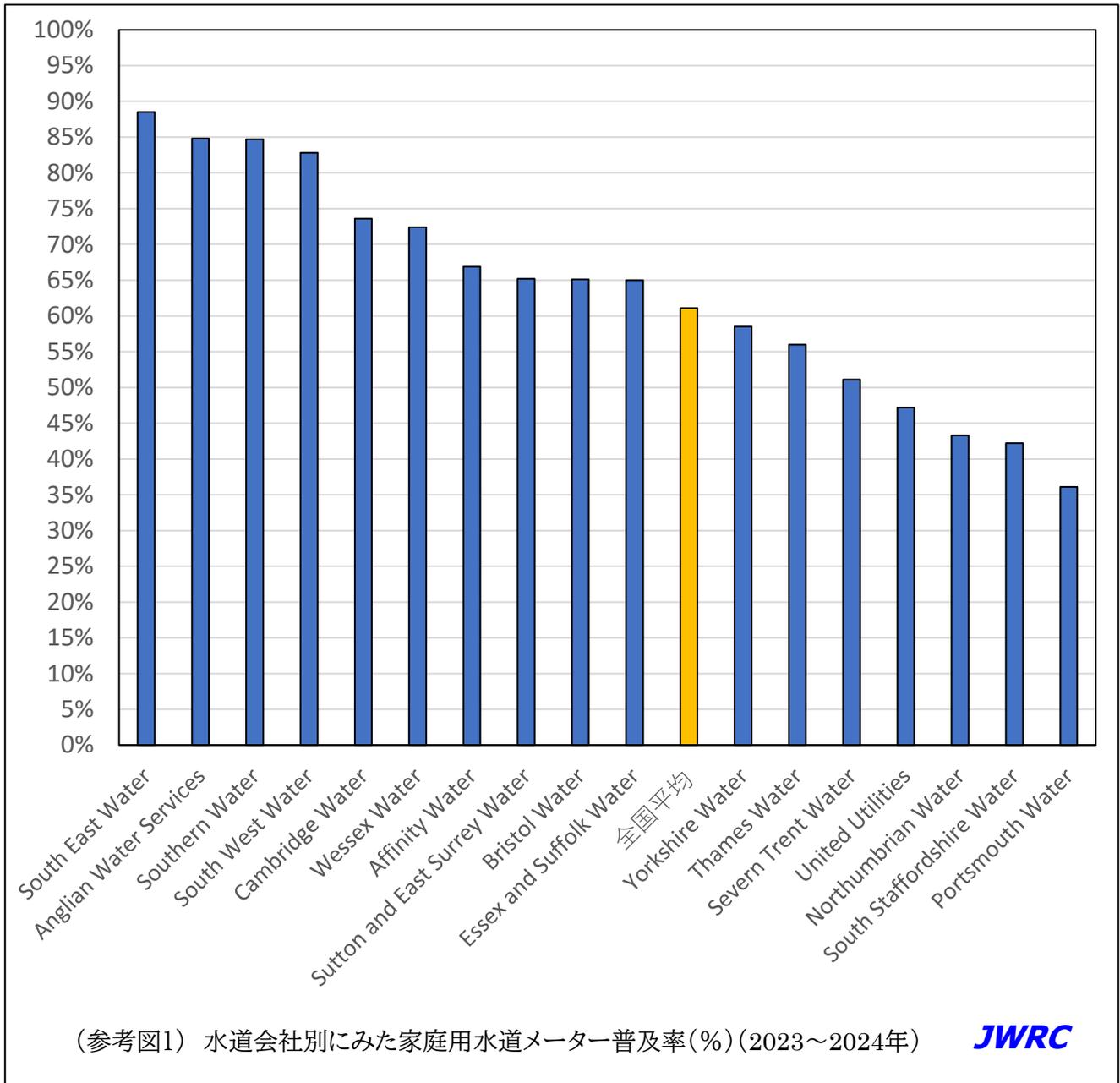
水道会社が 2023～2024 年に発表したデータによると、イングランドの家庭の 61%以上が、図 13 に示すように、メーター検針(空き物件を含む。)に基づいて水道料金を支払っている。空き物件とは、正当な入居者がいない物件のことである。

全国的にメーター導入率が 60%を超えたのは今回が初めてであるが、改訂された資源管理計画(WRMP : Water Resources Management Plan)で 2024～2025 年に予測されたメーター導入率 64.5%を大幅に下回っている。

メーター検針率は非常にばらつきがあり、水道会社によっては検針率が 80% をはるかに超えるところもあれば、36% 程度と低いところもある。

図 13: 2023～2024 年に水道会社が報告した、空き家を含む従量制料金を請求されている家庭の割合

水道会社名	家庭用水道メーター普及率
South East Water	88.5%
Anglian Water Services	84.8%
Southern Water	84.7%
South West Water	82.8%
Cambridge Water	73.6%
Wessex Water	72.4%
Affinity Water	66.9%
Sutton and East Surrey Water	65.2%
Bristol Water	65.1%
Essex and Suffolk Water	65.0%
全国平均	61.1%
Yorkshire Water	58.5%
Thames Water	56.0%
Severn Trent Water	51.1%
United Utilities	47.2%
Northumbrian Water	43.3%
South Staffordshire Water	42.2%
Portsmouth Water	36.1%



家庭用以外の物件については、空き物件を除くと平均で約 93%の物件にメーターが設置されている。これは図 14 に示すように、会社によって異なる。

多くの水道会社とその地域で事業を展開する商業用小売業者 (retailer) にとって、未検針の家庭用以外の物件にメーターを設置する機会が残されている。また、家庭用以外の物件のメーター設置率は高いものの、スマートメーターが設置されている物件はごくわずかである。

今後数年間、家庭用以外の顧客が水の使用状況を理解し、より効率的に水を使用できるようにするためには、大規模なメーター交換プログラムが重要になる。

(注) 小売業者 (retailer)

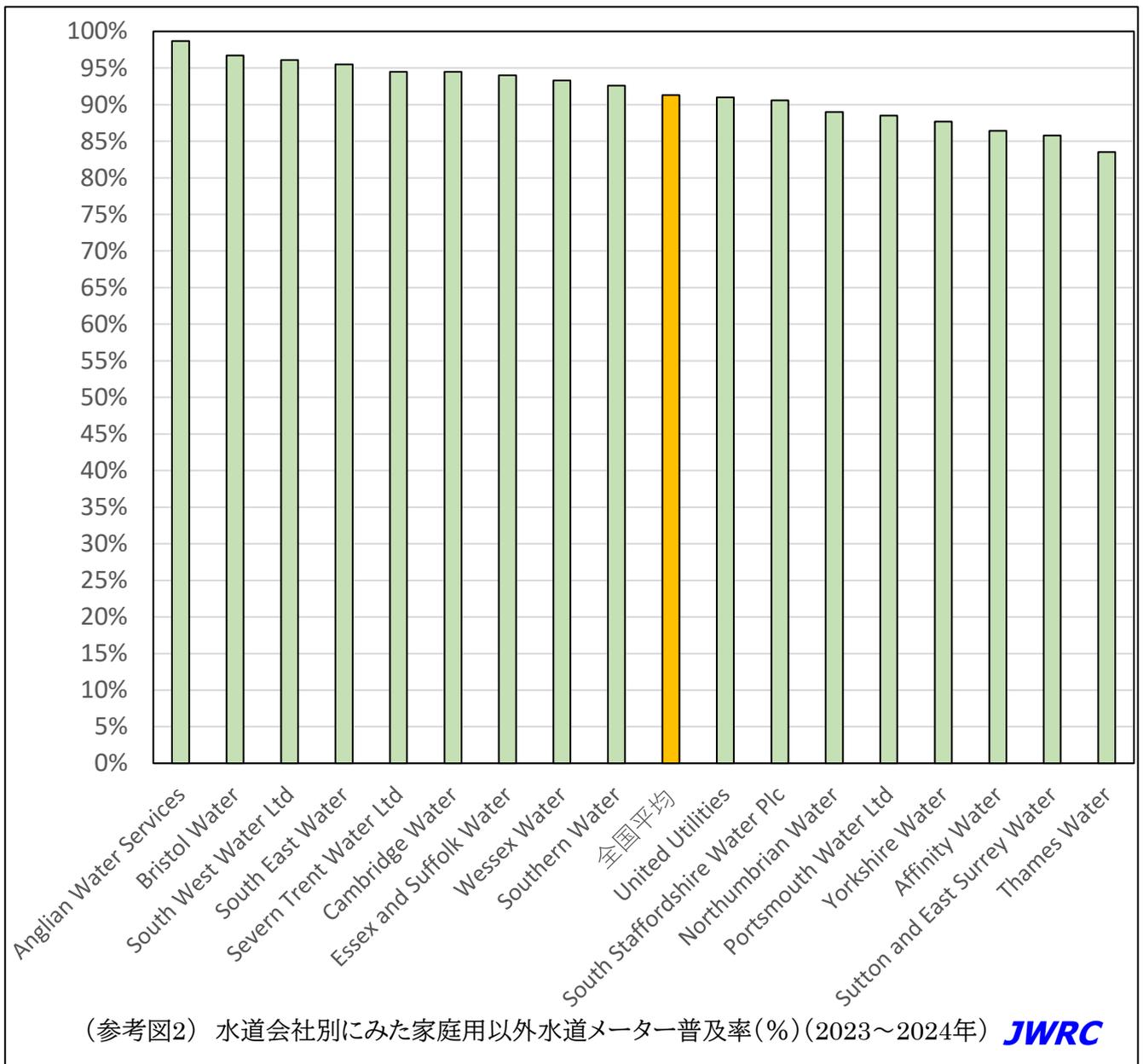
2017 年 4 月、水小売市場が開設され、イングランドでは約 120 万人の商業用顧客が、ウェールズでは適格な商業用顧客が、上下水道小売サービスの供給業者を選択できるようになった。

(出典) Business retail market update 2023-24

<https://www.ofwat.gov.uk/regulated-companies/markets/business-retail-market/business-retail-market-update-2023-24/>

図 14:2023～2024 年に水道会社が報告した、空き物件を除く家庭用以外向け従量制料金を請求されている割合

水道会社名	家庭用以外の水道メーター普及率(空き物件を除く。)
Anglian Water Services	98.7%
Bristol Water	96.7%
South West Water Ltd	96.1%
South East Water	95.5%
Severn Trent Water Ltd	94.5%
Cambridge Water	94.5%
Essex and Suffolk Water	94.0%
Wessex Water	93.3%
Southern Water	92.6%
全国平均	91.3%
United Utilities	91.0%
South Staffordshire Water Plc	90.6%
Northumbrian Water	89.0%
Portsmouth Water Ltd	88.5%
Yorkshire Water	87.7%
Affinity Water	86.4%
Sutton and East Surrey Water	85.8%
Thames Water	83.5%



3.2 スマート水道メーター

次の資産管理計画(AMP: Asset Management Plan)期間と最新の水資源管理計画(WRMP)を見据えると、2024~2025年は水道会社にとってスマート水道メーターの導入を計画し、調達する重要な年となるであろう。

環境庁は、全ての水道会社が、これらのスマート水道メーターの展開が適切に調整され、適切なリソースが確保されるように、サプライチェーンの確保を含む適切な措置を講じることを期待している。

スマート水道メーターの直接のメリットは、以下の点である。

- 適切なデータインフラ
- 分析システム
- 適切な顧客コミュニケーションチャネル

水道会社は、スマート水道メーターの導入後すぐに、水道使用量の増加や土地建物内の漏水の可能性について顧客に警告を発する準備を整えておく必要がある。顧客への効果的な誘導、そして簡単で直感的なメッセージングとデータ提供は、スマート水道メーターの導入を成功させる基盤となる。

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等ございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K.I.S飯田橋ビル7F (公財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL:jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー(第58号以降)は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <https://www.jwrc-net.or.jp/publication-outreach/hotnews/>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。